

火の用心のポイント



119

消防署より

■お問い合わせ

下川消防署 ☎・☆4-2119

平成30年に全国で発生した火災は、37,900件で、およそ14分ごとに1件火災が発生しています。その内、建物火災は20,703件で、全火災の約55%を占めています。

出火原因は、コンロ・たばこ・ストーブ・放火が例年通り多い状況となっています。これからの時期は花火遊びをするご家庭も多いかと思しますので、花火による事故や住宅火災を防止するためのポイントを紹介します。

住宅火災を防止するための6つのポイント！！

- ① 家のまわりに燃えやすいものを置かない。物置には鍵をかける。
- ② 寝たばこや、たばこの投げ捨てをしない。
- ③ てんぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- ④ 子供に火遊びをさせない。
- ⑤ 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ⑥ ストーブ等の火を使用する設備の周囲には燃えやすいものを置かない。



花火による事故を防止する8つのポイント！！

- ① 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。
- ② 花火を人に向けたり、燃えやすいものがある場所で遊ばない。
- ③ 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。
- ④ 水バケツを用意しましょう。
- ⑤ たくさんの花火に、一度に火をつけない。
- ⑥ 花火の筒先に顔や手を絶対出さない。
点火する時や途中で火が消えたときは、特に注意！！
- ⑦ 花火をほくして遊ぶことは危険です。絶対にしてはいけません。
- ⑧ 子供だけで花火遊びはせず、必ず大人と一緒に遊みましょう。



もしも火災が起こってしまったら…

火事が起きたことを周囲に知らせましょう。
消火器等で初期消火を試みて、消えそうにない時は、
すぐに逃げてください。火災で発生するガスは非常に有毒です。

※初期消火ができた場合でも、消防署に連絡してください。



2019年の状況
(4月末現在)

火災件数 0件

救急出動件数 39件

